

ナンバリング	B②08	科目名	保育方法論 I
担当形態	単独	担当教員	小木曾 友則
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③, ④		
テキスト	幼稚園教育要領解説 フレーベル館. 保育所保育指針解説 フレーベル館. 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説, フレーベル館. その他適宜資料を配布する。		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	1 単位・講義
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育方法の基礎理論と実践について説明することができる。</li> <li>・育みたい資質・能力と幼児理解に基づいた評価の基礎的な考え方を説明することができる。</li> <li>・保育の目的に適した指導技術を理解し、適用することができる。</li> <li>・子ども達の興味・関心を高めたり、活動を振り返ったりするために、幼児の体験との関連を考慮しながら情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。</li> </ul>		
授業の概要	<p>本講義は、これからの社会を担う子ども達に求められる資質・能力を育成するために必要な、保育の方法, 保育の技術, 情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技術を身につける。</p> <p>講義は担当教員が保育士・幼稚園教諭として勤務した経験を踏まえ、具体的な事例を基に「環境を通して行う教育」「幼児期にふさわしい生活」「遊びを通しての総合的指導」「一人一人の発達の特性に応じた指導」を理解する。</p> <p>保育には多様な見方があることを理解するために、アクティブラーニングを取り入れ発言の場やグループ討議の時間を設定する。</p>		
授業計画	<p>第 1 回 保育方法の基礎理論 「保育方法とは何か説明できる」</p> <p>第 2 回 環境を通して行う保育 「環境を通して行う保育について説明することができる」</p> <p>第 3 回 幼児期にふさわしい生活 「幼児期にふさわしい生活と保育形態について説明することができる」</p> <p>第 4 回 遊びを通しての総合的指導 「幼児期の遊びの意義を示した上で、保育者の援助の留意点を説明することができる」</p> <p>第 5 回 一人一人の発達の特性に応じた指導 「個と集団の育ちを踏まえ、保育者の役割を説明することができる」</p> <p>第 6 回 育みたい資質・能力と幼児理解に基づいた評価 「保育における評価とは何か説明することができる」</p>		

	<p>第7回 発達の時期に応じた教育方法と指導計画作成の実践 「子どもの実態に応じたねらいを設定することができる」</p> <p>第8回 幼児教育における情報機器(ICT)の活用 「情報機器を活用した保育実践における留意点を説明することができる」</p>
準備学習と必要時間	<p>予習として、毎回授業計画に示された「 」のテーマに関して、幼稚園教育要領解説で確認を行う。(120分)</p> <p>復習として、毎回講義のテーマに関して講義資料をもとに振り返る。(120分)</p>
評価方法	<p>受講態度(20%)授業課題(30%)レポート課題(50%)で評価する。</p> <p>受講態度の評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に提示した課題に責任を持って取り組む、質問に対する応答やグループ討議での積極性、発表時のまとめ方等から「関心・意欲・態度」及び「技能・表現」の到達度を見る。</li> </ul> <p>授業課題の評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎授業時間終了時に講義のゴールについて記述する振り返りシートから授業内容に関する「知識・理解」及び「思考・判断」から到達度を見る。</li> <li>・提出物は「知識・理解」及び「思考・判断」、「技能・表現」の観点から到達度を見る。</li> </ul> <p>レポート課題の評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート課題は、各授業に設定されたゴールから出題し、「知識・理解」及び「思考・判断」の観点から到達度を見る。</li> </ul>
参考文献	<p>マンガと事例でポイントをつかむ 幼児教育・保育方法論 教育情報出版</p> <p>幼児理解と評価 文部科学省</p> <p>指導計画の作成と保育の展開 文部科学省</p> <p>その他授業中に適宜示す。</p>
特記事項	<p>受講に必要な環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンまたはタブレットを毎回持参すること。</li> </ul> <p>受講の流れと仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Google Classroom を用いて講義資料の配信、授業課題の提示を行う。</li> </ul> <p>講義内容は要点をスライドで提示しながら進めるため、適宜 PDF データにメモするか、あらかじめ自身で印刷するなどして受講することをすすめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画に示した「 」は各回の講義のゴールである。授業中はゴールを念頭に受講し、授業後の振り返りシートで理解した内容をまとめて教員に提出する。</li> <li>・最終レポート課題は、各講義のゴールから出題されるため、毎回の講義を重んじた授業設計になっていることを理解した上で受講することを期待している。</li> </ul> <p>受講中のマナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義中他の受講者に対する迷惑行為(私語、飲食、講義と無関係なスマートフォンの使用、複数回に渡る退室や明確に受講意思のない居眠りなど)と判断される行為はその回の受講態度の減点となる。直接注意をされ講義の進行を妨げた場合、受講態度を大きく減点する。</li> </ul>

	・アクティブラーニング及び演習等では、積極的な発言をするだけでなく、学生、担当教員の話聴く姿勢も心がけてほしい。			
課題へのフィードバック方法	毎回の講義で提出する振り返りシートには教員がコメントを行い、次回の授業冒頭で他の学生のコメントを紹介する。			
卒業・免許状・資格との関連	卒業	幼稚園教諭免許状	必須	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
	その他	保育士資格	必修	保育の本質・目的に関する科目
実務経験のある教員等による授業内容				